



学校教育目標 基本目標 愛校心を持つ、たくましく生きる力を身につけた生徒の育成

具体目標 自ら意欲的に学び、正しく判断できる生徒（知）かしこさ 思いやりと感謝の心を持ち、主体的に行動できる生徒（徳）やさしさ あかるく健康で活力ある生徒（体）たくましさ

目指す学校

※生徒が心も体も大きく成長し、生きる力を身につけ、夢を実現できる学校→「生徒が群馬県一輝く学校」生徒が主体となり、自ら意欲的に学習に取り組む学校 安心・安全で、保護者や地域から信頼される学校 生徒の成長のために教職員がチームとして支援する学校 ICT、一人一台端末を活用した教育活動を推進する学校 「新しい生活様式」を踏まえた教育活動を行う学校

目指す生徒像

「かしこさ、やさしさ、たくましさを培い、学校に誇りを持ち、仲間とともに困難を乗り越えることのできる心身ともにたくましい生徒」

かしこさ、やさしさ、たくましさの知・徳・体をバランス良く備え、学校に誇りを持ち（愛校心）、一人では難しくても、仲間とともに力を合わせて困難を乗り越えることのできる生徒。 合い言葉「学校に誇りを持ち（愛校心）、仲間とともに困難を乗り越える」

目指す教師像

高い倫理観と規範意識を備え、師弟同行の精神を持ち、実践力あふれる教師 専門的な知識や技能を高め、主体的・対話的で深い学びを実践できる教師 生徒を大切に、指導への情熱を持ち、生徒の可能性を伸ばすことができる教師 組織の一員としての自覚をもって連携・協力するとともに、互いに高め合うことができる教師 →「生徒とともに教師が群馬県一輝く学校」

学校経営の基本方針

学校は、生徒たちが自らの成長と自己実現を目指し、安心して学ぶことのできる場でなければならない。これが実現できたときに初めて信頼される・魅力のある学校、すなわち『群馬県一輝く学校』に近づくと考える。学校教育目標である「愛校心を持つ、たくましく生きる力を身につけた生徒の育成」のために3つの具体目標の達成に向けて学校経営を行う。

自ら意欲的に学び、正しく判断できる生徒

- ・学習指導要領で求める資質・能力の育成に向けた教育課程の編成・実施
・実験・観察、問題解決的・探究的な学習を重視し、追究する楽しさを味わえる授業実践
・「はばたく群馬の指導プランⅡ」等を参考にするなど「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図った授業づくりの推進
・指導と評価の一体化の充実
・各教科等における ICT を活用した授業改善
・端末機器の活用のルールづくり及び ICT リテラシーの向上
・自己実現への過程を大事にするキャリア教育の推進

かしこさ

思いやりと感謝の心を持ち、主体的に行動できる生徒

- ・生徒理解に基づく成長を促す指導の充実
・自ら考え、企画し、運営するさまざまな活動の重視
・一体感、達成感、充実感など、感動を味わう学校行事の創造
・生徒主体の学校いじめ防止活動
・全教職員で取り組む、考え議論する道徳教育
・教職員自身が高い人権意識を磨き、人権意識に溢れた教育の推進
・生徒評議委員会の定例開催とあいさつ運動の実施
・基本的生活習慣、礼儀やマナーの確立

やさしさ

あかるく健康で活力ある生徒

- ・日常的な新型コロナウイルス感染症対策の継続
・学習活動における新型コロナウイルス感染症対策の徹底
・学校・学級が楽しく、安心感、充実感が得られる居場所づくりの工夫
・生徒一人一人の状況を早期・適確に把握して組織的な対応ができるよう、教育相談サポート体制の充実、関係機関との連携(相談室・ほっとルーム・保健室・適応指導教室ひだまり・SC・SSW 等)
・生徒の自己実現を図るため、自己指導能力の育成をめざす生徒指導
・何事にもチャレンジする活力の育成
・心と体を育てる学校行事の重視

たくましさ

今年度の重点

生徒が自ら考え、追究・行動する活動の設定

- ・実験・観察、問題解決的・探究的な学習を重視し、追究する楽しさを味わえる授業実践を行う。
・自ら考え、企画し、運営するさまざまな教育活動を重視する。
・新しい時代に求められる生徒の資質・能力の育成に向け、ICT を積極的に活用する。
・将来を見据え、自己の生き方を真剣に考える進路指導、生徒自ら目的を持った進路選択、自己実現への過程を大事にするきめ細やかなキャリア教育を推進する。
・生徒主体の生徒会活動・専門委員会活動を重視する。
・生徒の自主性を生かした効率的な部活動の運営を行う。

教育相談・生徒指導・特別支援教育の組織的な対応

- ・生徒の気になる様子を見逃すことなく全教職員で情報共有し、組織として対応する。
・不登校傾向生徒への対応は、「登校する」という結果のみを目標とせず、生徒が自らの進路を主体的に捉え社会的に自立することを目指し、教職員が連携・協力して支援に当たる。
・全教職員で、不登校を問題行動ととらえず当該児童生徒の心情に寄り添い支援する。
・いじめの防止・早期発見・いじめの対応については、学校いじめ防止基本方針に基づく適切な対応を行う。
・いじめが疑われる言動を把握したら、いじめ対策組織を中核として法に基づく適切な対応をする。
・全ての教職員が障がいについて正しく理解し、それに基づく個に応じた配慮等についての認識を深め、組織的に対応する特別支援教育を推進する。
・教育支援委員会を機能させ、合理的配慮について全職員へ徹底し共通理解を図る。

安心・安全で、保護者や地域から信頼される学校

- ・学校経営グランドデザインを活用し、学校と家庭、地域との目標やビジョンの共有を図る。
・日常的な新型コロナウイルス感染症対策の継続、学習活動における新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図る。
・学校の運営情報を発信する。(学校便り・学年便り・学校 Web・学校ブログ等)
・保護者や地域の願いに、迅速丁寧に親身になって応える。
・「主体的に行動する態度」「自助、共助、公助」へ向けた安全・防災教育を推進する。
・生徒の健康・安全面で配慮の必要な生徒を把握し適切な対応をする。
・学校でのけがや事故への救急処置や救急体制の適切迅速な対応をする。
・登下校時の交通安全・不審者対応等、地域や関係機関と連携した取組を推進する。
・事故等発生時及び事後には、全教職員が「千代田中学校学校危機管理マニュアル」に基づき、それぞれ役割を分担し、生徒の安全確保及び応急手当、心のケア等を実施する。
・様々な困難・ストレスの対処方法を身に付けるためのSOSの出し方に関する教育を実施する。

教育活動を行う教職員の資質向上

- ★教育公務員としての自覚と誇りを持ち、コンプライアンス意識をしっかりと身につける。
★生徒の多面的・総合的な理解に努め、児童生徒理解を深化させる。
★教職員は、児童生徒の人権感覚を醸成する立場にあり、自らも高い人権意識を磨いていく。
★教員養成指標を活用し、段階に応じたOJTやメンター研修を通じた職能成長を図る。
★全教職員で ICT を活用した教育活動、校務の情報化・効率化を推進する。



- ★教職員や学校内の多様な人材が、それぞれの専門性を生かして、子どもたちに必要な資質・能力を身につけさせる。
★自己目標を設定し、自ら学び続ける力、新たな課題に対応できる力、チーム学校として発揮する力など育成する。
★働き方の意識改革、限られた時間で効率化を図る。生徒にとって真に必要なものは何かを振り返り大胆に業務を削減する。
★規律確保行動計画について全職員で取り組む。また、同僚性を高め、不祥事を起こさせない職場環境づくりを推進する。
★適正な事務執行・公金等の適正な管理を徹底する。